



グッドガバナンス認証  
 2022G(0)0057

## 第25期(2023年度)通常総会 終了いたしました!

- 議事:第1号議案 第24期(2022年度)事業報告・収支決算の件
- 第2号議案 第25期(2023年度)事業計画(案)・収支予算(案)承認の件
- 第3号議案 費目変更に伴う決算書(2021年度)の承認について
- 第4号議案 定款一部変更の件

第25期(2023年度)通常総会は、定款変更等関連議案すべてが承認されました。社会課題の解決をめざし、行政をはじめ、企業・地域により信頼され、質の高い事業を実施する認定NPO法人をめざし、心新たにスタートしました。



■日時:2023年6月19日(金)  
 13:30~14:30  
 参加者:会員69名中  
 59名参加(書面・委任状含)



**1日約33円~の寄付が  
 ひとり親家庭等の支えとなります。**

毎月クレジットカードから寄付できる!  
**マンスリーサポーター**への登録をお願いいたします。皆さまからの寄付により、ひとり親や生活困窮家庭へ**食料・学習・居住**の各支援を行います。

こちらのQRコードからどうぞ!



総会報告	P1
こどもの居場所	P2~3
行事報告	P
舞台鑑賞	P
本が好き	P
食卓に吹く風	P
戦争PTSD被害孫世代まで	P
お知らせ	P

# ■岡山県子どもの貧困対策事業

## おかやま子ども支援ネットワーク事業 in 備中県民局エリア

～こども食堂・こどもの居場所をいっぱいつくろう！～

目的：子どもの居場所(こども食堂など)の持続可能な仕組みづくりや運営の強化、民間団体の対応力の向上などを計る

### ♡ こども食堂を始めるきっかけはさまざま

- ・仲間と、なんかやりたいなあ～
- ・子どもの貧困・孤食・・・気になることがある
- ・子どもたちが気軽に参加でき、楽しい場がほしい
- ・地域のなかに、気軽に交流できる場所をつくりたい
- ・できたら、社会の役にたちたいなあ。
- ・なんか地域にある課題を解決したいなあ

子どもだけでなく、高齢者まで気軽に集まるところがええなあ！

一人でなく、だれか、仲間をさそおう！  
思いが同じ人がきつといる！

そうだ！  
こども食堂を  
しよう！  
一緒にしよう！

たくさんのお会いや経験が、  
子どもたちを豊かにして  
くれます！



## ■行事報告

大井児童館

### ■科学遊び

日時：

7月20日(木)

～8月24日(木)

場所：大井児童館

参加者：幼児 59名

小学生 78名

中学生 7名

高校生 4名

大人 38名

<内容>

7/20～31

たった5分でシャーベット

でっかいシャボン玉

たたき染め

8/2～10

カルメ焼きに挑戦！

8/16～24

スライム

カラフルクラゲ(浮沈子)

※雨天時

ペットボトルで空気砲

静電気で遊ぼう

移動児童館の企画として子ども実行委員が選んだ科学遊びの中で、保健センターでやらなかったもの、やってみて楽しかったものを夏休み期間中、園庭で実施しました。暑さ対策として園庭のテントや木陰を利用し、テラスにミストを噴霧する中、安全に楽しむことができました。

子どもたちは、大きなシャボン玉に歓声を上げ、ジュースに氷を入れても凍らないのにシャーベットができることに驚き、花や葉の形そのまま染められるたたき染めに夢中になっていました。大人気のカルメ焼きは、期間中毎日参加して上手に作れるようになり、その様子を詳しく書いて夏休みの宿題にする子もいました。

また、スライムは作り方を熱心に聞く子が多く、浮沈子のカラフルクラゲは実験の様子を見ながら「水圧がかかるからそうなるんじゃない？」と高学年から予測する声も出て、科学に対する興味や理解が深まる企画となりました。



#### たたき染め

和紙の上に花や葉を載せてハンマーでたたくと植物の水分が色とともに染み込みます



#### でっかいシャボン玉

紐の輪っかに棒を付けた大きな枠で作ります

### ■子育てひろば「あおぞら」

ぴゅあちっち

日時：8月7日(月)

10:00～11:00

場所：

ハーモニーネット未来

講師：

原田啓子さん

佐藤幸子さん

参加者：幼児 6名

大人 4名



偶数月に子育てひろば「あおぞら」が開催する『ぴゅあちっち』に、あおぞら登録親子が遊びに来てくれました。はじめのうちは緊張気味だった子どもたちも母親がゆったりとしていると徐々なれ、楽しそうに参加することができました。

親子のふれあい遊びではお母さんに抱っこされ、膝の上に座らせてもらい、音に合わせてリズムをとっていました。

ふれあい遊びはちょっとした時間でも、親子でコミュニケーションをとりながら遊ぶことができ、絆を深めるツールなので家でもぜひやってもらいたいです。

大きな布を海に見立てて、自分たちで作った魚を泳がせた魚釣りやパラバルーン体験は布の下にはいり、ふわふわの布がふんわりと降りてくる感触を味わいました。

子どもたちの弾ける笑顔を見ることができ、楽しいひと時となりました。

お母さんたちからも「子どもがのびのびとしました」という感想をいただきました。

★次回の「ぴゅあちっち」は10月です。



みんなの  
かんそう  
ありがとう!



## 人形劇団ココン

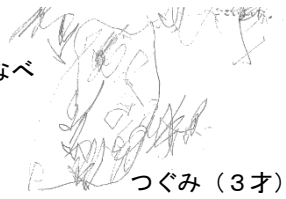
### 「カボとピノ」～手づかい人形劇～

とき:2023年5月13日(土)16:00~17:00

会場:笠岡市保健センターギャラクシーホール

初めて子どもが人形劇を見たので怖がったりしないかと少し心配もありましたが、大人も子どもと一緒に楽しめてとても面白かったです。ありがとうございました。たなべ

おもしろかったのでほかのシリーズもみてみたいなと思いました。まゆこ(小3)



つぐみ(3才)

ふたりでしようずにできるとおもいました。すごかったです。うれしかったです。なな(小2)

最後の終わりのときに、「おしまい」の「し」がぬけていて、キャラクターが「し」のところに入ったのがおもしろい終わり方だなと思いました。ゆうな

人形や動きがかわいくていやされました。2人でさえていてすごいなあと思いました。あとう



あとう(小1)

おもしろかったです!楽しかったです!ぶたいうらも見たら楽しそうだと思います。さくら(小5)



さくら(小5)

友達と勇気を出して困難を乗り越えていく珠玉のものがたり。

# おいしいのぼ"うけん

さく:ふるたたるひ・たばたせいいち (童心社刊)

さとちゃんが ずっと手をつないでくれたから

ぼく・ぼく 力がでたんだ!



## ほんわかシアター

子どもをとりまく状況がすさまじい勢いで変化していく中、大人も子どももホッとして優しい笑顔でいられる、そんなほんわかしたひとときを大事にしてあらゆる人たちの心に、ゆっくり、じんわり届くハートフルなお芝居を届けたいと思っています。

代表 加藤 K 子さん

2023年

9/8(金)

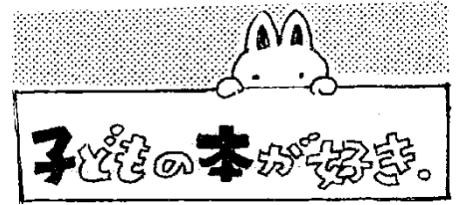
開場 18:15

開演 18:30

終演 19:30

笠岡市保健センター  
ギャラクシーホール

終演後、ロビーで人形たちと記念撮影があります!また、いつもは見る事ができない舞台装置の解体作業を見学することができます。(約15分)



## ■阿藤美穂子

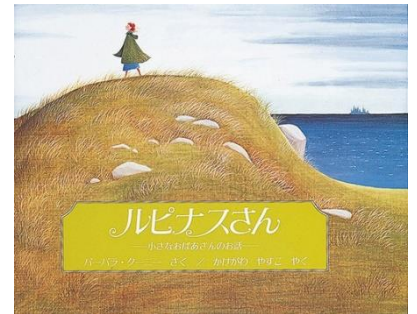
「ルピナス」という花は、チョウに似た小花が咲き上がる様子が、フジを逆さまにしたようで「ノボリフジ」とも呼ばれています。色も、ピンク・黄・青・紫などがあり、とても美しい花です。

この絵本の主人公「ルピナスさん」は、海を見おろす丘の上にあるちいさな家に住んでいます。家の周りには、青や紫、ピンクなど、色とりどりの花が咲きみだれています。

「ルピナスさん」は小さなおばあさんですが、若い頃は、図書館で働いたり、世界中のいろいろなところを旅したりしました。

「世の中をもっと美しくするために何をする」という約束をはたすために、すてきなことを思いつきました。

「ルピナスさん」という一人の女性の人生の輝きを、自分自身の人生と重ね合わせて改めて「生きる」ということの意味をしみじみと感ずることができました。



『ルピナスさん  
小さなおばあさんのお話』  
作：バーバラ・クーニー  
訳：かけがわ やすこ  
出版社：ほるぷ出版



『いつでもきみのそばにいる  
—小さなちいさな優しい世界』  
作：リト@葉っぱ切り絵  
出版社：講談社

9月になっても暑い日が続きますね。木陰を渡る涼しい風にほっといやされる、そんな小さな優しい世界をのぞいてみませんか。

作者は、ADHD(注意欠陥多動性障害)という障害がありますが、特性である集中力を活かして葉っぱ切り絵の創作活動に取り組んでいます。

TV番組でも取り上げられ、話題になりました。いろんな葉っぱの中にいろんな生き物たちの物語が描かれていて、添えられた言葉にも心が和みます。

様々な色や形の葉っぱの中に浮かぶ小さな世界は「みんなちがって みんないい」というメッセージを伝えてくれている気がしました。

ペク・ヒナさんの独特のファンタジー世界と長谷川義史さんのやわらかい関西弁の訳がコラボした今の季節にぴったりのお話です。

## ■食卓に吹く風（39） ～発酵食品の力～

### ■食べたものが私になる



やさしいのち  
さかなのいのち  
ありがとうございます  
いただきます！



### ■免疫力のスイッチを 押す発酵食品



小泉武夫さん

### ■祖先が食してきた和食

先日記録映画『いただきます』を観ました。「ここは発酵の楽園・味噌を作る子どもたち」という副題どおり、子どもたちの味噌作りを通して、いきいきとしたみごとな食育の様子が描かれた、たいへん楽しい作品でした。

福岡の高取保育園(園児 200 名)では、「食べたものが私になる」という基本理念の西園長のもと、実験的ともいえるユニークな取り組みがされています。

給食は肉や乳製品を使わず、無農薬の玄米、有機野菜、魚や海藻、調味料はしょうゆ、味噌が中心で、毎食味噌汁と納豆つきのいわゆる昔ながらの和食です。米や野菜は地元の農家さんから提供されています。かなりの量もあるそんな給食を、子どもたちがいかにもおいしそうに、顔中ごはん粒だらけにしなごもり残さず食べるのです。その食べっぷりにはホレボレするばかり。体もしっかり動かすので、お腹も空くはずです。

知育・体育・徳育といいいますが、その源となる食育には格別力を注ぎ、毎年上級の子どもたちが、翌年の下級生たちのために味噌作りをします。その作り方も先輩から後輩へと伝授されるのです。青菜の漬物もムシロの上で塩でもんで作っている様子にはびっくり。そんな園での体験とおいしい味は、子どもたちの心と舌にしっかり刻まれることでしょう。重症のアトピーの子が、1ヶ月できれいに治ったというのに驚かされますが、何かを示唆しているのではと思わずにいられません。

発酵食品が注目されたのは、日本の発酵学の第一人者とされる小泉武夫さんの力が大きいといわれます。20 年前に NHK の「発酵は力なり」というシリーズで登場し、その第 1 回のテーマが「甘酒は点滴」でした。

米のでんぷんが麹菌によって分解されブドウ糖ができます。その甘酒を分析すると、糖質以外にビタミン B1、B2、B6、パントテン酸、イノシトール、ピオチンと人間に必要なビタミン類がみんな入っていて、さらにたん白質を分解してできるアミノ酸が多いこともわかりました。江戸時代から作られている甘酒は、ブドウ糖、総合ビタミン、総合アミノ酸溶液で、完全に現代の点滴です。甘酒は飲む点滴ともいわれる所以です。

発酵という分解作用によって新しい栄養が生まれる不思議。もうひとつの不思議はその過程で旨みという新たな要素が加わること。納豆の旨みは格別で、納豆菌はほんとうにいい仕事をしています。考えてみれば、人間の身体もまるで神秘の宇宙のようで、絶妙なバランスの上で健康が保たれているのでしょうか。コロナ以来免疫力の大切さが強調されますが、発酵食品は免疫力を高め、味噌、キムチ、納豆、テンペなどはとりわけ免疫力活性が高いと言われます。食物繊維も腸を通過する時免疫細胞をつくれ！という信号を出しているそうです。

近年アトピーや食物アレルギーが急激に増えているのはなぜなのでしょう。ひと昔前は今よりずっと粗食でしたが、アレルギーの子はほとんどいなかったように思います。生活習慣も環境も食品の流通形態も変わり、加工品が溢れて化学物質由来の添加物は欠かせない状態です。「食べることは生きること、食べたものが私になる」という基本に還る時、高取保育園の取り組みは改めて祖先が食してきた和食のすばらしさを教えてくれているようです。日本人は世界の民族のなかで最もベジタリアンに近いといわれています。肉や乳製品も欠かせない日常ですが、せめて発酵食品や食物繊維を取り入れた食卓を目指したいものです。(石井広子)

## ■戦争PTSD被害孫世代まで

### ■小角靖子

戦争を経験した人が高齢になり、戦争の悲惨さを直に語れる人が少なくなってきた。戦争の経験を風化させず、若い人たちに伝える努力がいろいろされている。難しいけれど、それが平和を維持する貴重な礎となることは間違いない。

一方、戦争を経験した超高齢の人たちが亡くなった今の時期にこそ語られ始めたこともある。それはともに暮らした家族の、子や孫の傷痕とも呼べる経験だ。

戦争の経験が PTSD (心的外傷後ストレス障害) を負わせることがだんだんと明らかにされてきている。

アジア・太平洋戦争で PTSD を負った旧日本兵の家族らが 5 月 9 日にシンポジウムを開いている。題は「脱・戦争」、主催は「PTSD の復員日本兵と暮らした家族が語り合う会」。副題は「あの戦争の後始末もできないまま、また戦争をやるのですか」である。

この「PTSD の復員日本兵と暮らした家族が語り合う会」が『PTSD の日本兵の家族の思いと願い』という本を「あけび書房」から出している。アジア・太平洋戦争に出征し、精神疾患を患った日本兵と暮らした家族たちの証言集である。

殺し、殺される戦場で PTSD を負った復員兵は推定 300 万人。家庭内暴力、虐待、アルコール依存、社会関係の悪化、自殺願望…。

「皇軍の恥」として隠され、「家族の恥」として秘されてきた史実に光をあてている。それは子や孫にまで連鎖する戦争の影響を浮き彫りにしている。

それらは戦争をしたい人達が隠したい事実であり、いままで隠され続けてきた。国からの補償はもとよりない。

満蒙開拓義勇少年兵であった私の父も人間性の内面というものが破壊されていた人だったように思う。94 歳の高齢まで生きたけれども、後半の 40 年は社会的なつながりを拒む社会的引きこもりの暮らしであった。

自分の人権が実現されることのない子ども時代を送った父は、自分の妻や子どもにも人権があることなど理解できなかったのだろう。子どもころ、憲法は私にははるかに遠かった。父の印象を薄めるため、本の世界に逃げ込む子どもであった。64 歳の現在でも、父の大きな怒鳴り声のよみがえりを、その度に丁寧に打ち消すのだ。いまでも分からないことがとても多いと思う。

そして現在のウクライナ戦争に行かされたロシアとウクライナ双方の兵たちは新たな PTSD を発症している。それは今後世界中に甚大な影響を与えるはずだ。

人間を壊し、家族やその周囲の者を奈落に突き落とす戦争の真の姿を明らかにし、平和の選択を過<sup>あやま</sup>たずとれる社会を作らねばならない。未来のために。



「PTSD の日本兵の家族の思いと願い」  
作：PTSD の復員日本兵と暮らした家族が語り合う会



# ■ハーモニーネット未来からのお知らせ

(問い合わせ：0865-63-4955)

## 9月からの予定

インターネットから

ハーモニーネット未来 検索

クリック

※ホームページでも右記の予定を  
みることができます。

日程	時間	内容
9/9(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
10(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)
19(火)	10:00～	ぴゅあカフェ(事務所)
23(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
10/1(日)		フード&ライフドライブ「てとて」
14(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
15(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)
28(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
29(日)		フード&ライフドライブ「てとて」
11/3(金)		第21回 科学の祭典 (詳細は、後日HPでご確認ください)
11(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
12(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)
19(日)	10:00～	こどもふるしき市(笠岡駅前ツザキメガネ店隣)
25(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
26(日)		フード&ライフドライブ「てとて」
12/9(土)	10:00～	絵画教室(事務所2F)
	13:30～	舞台鑑賞「左手のピアニスト 智内威雄さん」
10(日)	10:00～	文章教室(事務所2F)



※予定が変更する場合があります。ハーモニーネット未来  
(TEL0865-63-4955)までお問い合わせください。  
※事務所とは、ハーモニーネット未来のことです。  
※「ぴゅあそ〜る」(事務所2F)毎週火曜日 10:00～  
※「ぴゅあカフェ」(事務所2F)第3火曜日 10:00～  
※移動ひろば「あおぞら」 毎週火・木曜日 10:00～  
※「おはなしの会」毎週水曜日 10:30～11:00

「レシート1枚」でできる支援!

毎月11日はイエローレシートの日  
買い物したら、店内設置のボックスに  
黄色いレシートを入れてください。  
1%が、ハーモニーネット未来に寄付されます。

場所：マルナカ笠岡店

4年ぶり復活!

第21回 科学の祭典

2023年

文化の日

11月3日(金) 12:30～15:00

浅口市ふるさとかがたプラザ

ビッグハット

待ちました!

こどもふるしき市

11月19日(日) 10:00～14:00

笠岡駅前通り

めがねのツザキ様のとなりの

次回舞台鑑賞のお知らせ

左手のピアニスト

ちない たけお  
智内 威雄さん



私にとって左手の  
ピアノ楽曲は、ま  
ず新たな分野と出  
会った驚きであり、  
そして再びピアノ  
を弾ける喜び、音  
楽を続けられる喜  
びでした。私は音  
楽が持つ普遍的な  
芸術の力、その可  
能性を強く信じさ  
せられました。

(開場 13:15)

12月9日(土) 13:30～

笠岡市保健センター

ギャラクシーホール